

— 設備保全の情報共有・交流会 —

東北地域保全研鑽会 (2024年度第2回)

<https://info-jipm.jp/f/jipm-study-group/>

のごあんない

- **設備保全は、**
“壊れた部品を交換するだけ”ではありません！
設備をいつでもロスなく稼働させることが本来の役割。
- **でも、自社だけでは行き詰ってしまうことも。。。**
困りごとの解決や、他社の取組み事例を知りたい方は、
ぜひ、本研究会で一緒に解決してみませんか！！



トヨタ自動車東日本 宮城大和工場での見学时(2024年第1回)

2024年度第2回 開催概要

| | |
|------|---|
| 日時 | 2024年11月15日(金) 13時30分～ ※ 受付開始は、13時より開始します ※ 終了時間は、16時30分を予定しています |
| 場所 | アイシン東北株式会社 (自動車用部品製造会社) 所在地：岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山6番地 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none">● アイシン東北 株式会社 の現場視察 ～アイシン東北 株式会社 における“設備管理”の事例見学～● 見学後の質疑応答、ディスカッション ※ 内容は現時点での予定であり、変更の場合がございます ※ 現場視察の際は、 安全眼鏡の着用 が必要です。ご持参ください(眼鏡着用の方は不要) |
| 申込方法 | メールにて、お申し込みを受付けます。(FUKYU@jipm.or.jpまで) ※ 参加定員30名様(1事業場につき2名程度まで) のお申込みとなります ※ お申込み多数の場合は人数のご調整のお願いや、同業種の方のご参加の場合はお断りすることがございます。あらかじめご了承ください ※ メール送付の際は、下記内容をご入力ください <ul style="list-style-type: none">・ 件名：東北地域保全研鑽会の申込み・ 本文：1. 貴社窓口ご担当者様情報 (貴社名、所属、役職、お名前、お電話番号) 2. 参加予定人数 (参加者様の情報は、別途、指定様式への入力をお願いします) |
| 年会費 | <ul style="list-style-type: none">● 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会員価格：無料● 一般価格(上記以外)：¥33,000-/名 |



東北地域保全研鑽会ってなに？

研究会活動の紹介（2024年度第1回活動レポート）

| | |
|-------|--|
| テーマ | 2024年度第1回 東北地域保全研鑽会 ～トヨタ自動車東日本における設備管理の事例見学～ |
| 開催日 | 2024年7月30日（火） |
| 開催場所 | トヨタ自動車東日本株式会社 宮城大衡工場・宮城大和工場 |
| プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ● トヨタ東日本学園 概要・施設紹介 ● トヨタ自動車東日本 宮城大衡工場 組立工程・ボデー工程紹介 ● トヨタ自動車東日本 宮城大和工場 三本柱活動・自主保全活動・定量保全（兆候管理・状態監視）活動紹介 |
| 参加者 | 東北地域保全研鑽会 会員：32名（10社） |



開催報告

- 今回の研鑽会では、「現場・現物・現実といった三現主義のもと、そこから得る“気づき”の大切さを実感」をテーマに、トヨタ自動車東日本さん（以下、TMEJ）のご協力いただき見学させていただきました。
- まず、ご紹介いただいたのは、「トヨタ東日本学園」。認定職業訓練校であり、TMEJだけでなく、地域のモノづくり人材の育成を担う。機械要素やロボット制御などの実習設備を備え、モノづくり現場の中核人材を育成している。TMEJの生徒さんにおいては、1年間の規律の厳しい生活や教育を経て、指導員的な立場を目指すことになる。とくに、TMEJの保全部署へ配属するためには、学園を卒業する必要があることが特色だ。
- 続いて、「宮城大衡工場」の組立工程とボデー工程を視察した。車両工場だけあって、見応えのある工程であるが、各所に作業のやり易さへの工夫、ミス防止策を施しながら安定稼働を目指すラインとなっていた。アナログとデジタルの良い点を融合しながら、「自動化」がされている。さらに用いた改善活動にも注目だ。

- 「宮城大和工場」では、「モノづくり現場」での要点を整理した「職場運営の3本柱」活動の実例をご紹介いただく。1) 標準作業の徹底と改訂（人）、2) 加工点マネジメント（製品）、3) 自主保全（設備）を柱とした活動である。自主保全の事例として、「自主保全ボード」で管理し、設備課と保全課が連携しながらエフ付け・取りの活動を展開していた。
- そして、専門保全の3本柱活動「故障ゼロマネジメント」をご紹介いただく。1) 予防、2) 予知、3) 処置の3つを柱にして、昼休み内で対応可能な定量保全の改善（予防）や、状態監視化（予知）の事例、早く正しく修復するための育成（処置）について説明。さまざまな部署と一体となって活動を推進していた。
- 今回は、2工場と教育施設の見学であり、さまざまな点について“気づき”を得られる会となった。見学中の説明者と参加者との質疑応答も活発に展開されていた。

（記：JIPM奥富）

「設備保全」の業務は、「設備をいつでもロスなく稼働させる」ことが本来の役割。

その実現には、故障をはじめとしたロスの原因を見つけて、未然に対策を行なうことが重要です。しかしながら、自社で得た知見だけでは、なかなか対策が難しい場合も。。。

「東北地域保全研鑽会」では、2016年より、人材育成や人材確保、設備診断技術などをテーマにして、ディスカッションや、工場の見学を実施しながら「オール東北」での交流の場となることを目指しております。

日頃の困りごとの解決や、他社の取組み事例を知りたい方は、この機会にぜひご参加いただき、参考となる情報を自社で活かしてみませんか？
（当会会員企業の方は参加無料ですので、お気軽にご参加ください）



研究会概要

| | |
|------|--|
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● 設備管理・保全に関する情報交換ならびに相互研鑽 ● 設備管理、保全、モノづくり全般について先進企業の取組み紹介 ● メンバー企業の工場見学 など |
| 参加対象 | <ul style="list-style-type: none"> ● 設備保全、設備管理全般の管理者およびご担当の方 ● 人材教育の企画、実施のご担当の方 |
| 開催頻度 | ● 2～3回/年を予定 |
| 年会費 | <ul style="list-style-type: none"> ● 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会員価格：無料 ● 一般価格（上記以外）：¥33,000-/名 |

東北地域保全研鑽会にご興味ある方は、お気軽にお問合せください

TEL：0120-451-466（または03-6865-6081） E-mail：FUKYU@jipm.or.jp